

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	女性教育の推進				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	教育委員会	課等名	生涯学習・スポーツ課		包含する細々目	1	10	5	1	1		46	
政策	8 交流と連携が活力を生むまちづくり												
施策	81 都市間交流の推進												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	事業期間		年度～	年度	関連計画 条例等			

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田市・伊勢市婦人会	飯田市連合婦人会会員数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			966	900		
	両市婦人会の学習、交流の充実	交流回数:回	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	最終目標達成年度	
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
両市婦人会の学習、交流の充実	交流回数:回	18目標	2	最終目標	2	
		18実績	2	19目標	2	↑
		23目標		23実績		
		18目標		最終目標		
両市婦人会の学習、交流の充実	交流回数:回	18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	両市婦人会の学習、交流	飯田市連合婦人会の伊勢市への訪問・学習交流事業 伊勢市婦人会の飯田市への来訪、学習交流事業	交流回数:回	2
		18年度の実績		
飯田市連合婦人会の伊勢市への訪問・学習交流事業 伊勢市婦人会の飯田市への来訪、学習交流事業	交流回数:回	2		
		19年度計画		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金		
	特定財源		
	起債		
	その他		
	一般財源	37	37
事業費計(A)		37	37
人件費	正規職員所要時間	18年度 40	19年度 40
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	143	143
	トータルコストA+B	180	180

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ 飯田市著と伊勢市長との個人的な関係から両氏 婦人会の交流に発展した。	事業を取り巻く状況の変化 婦人会会員の減少	事業に対する市民や議会の意見 市連合婦人会を母体として活動する市会議員もあ る。 各地区婦人会は地域活動に対して一定の影響力を もっている。
--	--------------------------	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意 図の達成が、結 果(上位目的) に結びついてい ますか？ (評価) 結びつく (その理由) 伊勢市とは子ども交流も実施している。	有効性 評価	成果をさらに向 上させる余地は ありますか？ (評価) 余地がない (その理由) 費用対効果から現状維持が妥当。
	対象の見直し、拡 大、縮小の必要 性がありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 継続行事であり、相手があることである。		廃止・休止した 場合の影響は ありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 東海圏との都市交流の機会の減少。
	意図の見直し の必要性はあり ますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 東海圏との都市交流に繋がる。		他に類似事業 はありますか。 また統合の可 能性はありませ んか(市以外の取 組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する 必要性はありま すか？(市が税 金を投入すべき 事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 東海圏との都市交流である。		効率的に、事業費や人 件費の削減は 可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 費用対効果から現状維持が妥当。
		公平性 評価	受益者は誰で すか？ また、負担の是 非、程度は妥当 ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 交流の主体は婦人会であり、費用負担も適切である。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を 実施する際、想定され る課題とその克服方 法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し 事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本 計画推進委員会	